



左から白井委員、三戸委員、杉本教育長、吉田委員、北川委員

教育委員会委員紹介

教育委員会は教育長及び4人の委員で構成されています。教育、学術及び文化に関し識見を有するものから任命されており、任期は4年です。委員は合議制の教育委員会にて稲城市の教育に関する方針の決定を行っています。

<b>委員(教育長職務代理者)</b> 吉田 伸幸 任期：令和2年10月1日～令和6年9月30日	<b>委員</b> 三戸 美代子 任期：令和3年10月1日～令和7年9月30日
<b>委員</b> 北川 英一 任期：令和4年10月1日～令和8年9月30日	<b>委員</b> 白井 妙子 任期：令和5年10月1日～令和9年9月30日

発刊に寄せて

～一人ひとりの学びの充実を目指して～

稲城市教育委員会教育長 杉本 真紀子

この度、稲城市教育委員会広報紙「イメール」を発刊することとなりました。本市の教育施策全般について、お知らせしてまいります。これまで長年親しんでいただいていた「いりま」生

方、子どもへの対し方を学び合うため、「生徒指導提要改訂作業」において中心的役割を果たされた新井先生にぜひご指導いただきたいと、企画しました。

さて、稲城市教育委員会では、子ども達が希望をもって安心して過ごし、学びを実感できるような充実を、これまでも図ってまいりました。そのうち、教室に入りやすかったり学校に登校しにくかったりする状態になっ

さらに、児童・生徒が毎日安心して過ごすには、学校が「みんなが安心して学べる場所」であることが重要です。そこで令和6年度から、全ての小学校において、「複数担任制」「一部教科担任制」等に、東京都からの

現在の、様々な教育課題が挙げられている中ですが、特に「イメール」に込めた思いを実現するには、一人ひとりの児童・生徒が、日々希望をもって安心して過ごし、学びの歩を進められることが重要であると認識しております。

この課題意識のもと、稲城市教育委員会では、令和6年4月26日、稲城市立学校全教職員を対象に、関西外国語大学教授新井肇先生をお招きし、「新生徒指導提要」が示すこれからの生徒指導の方向性をテーマとした研修会を開催しました。「生徒指導提要」とは、文部科学省の作成による、生活指導に関する学校・教職員向けの基本テキストです。令和4年12月、子どもを取り巻く社会環境の大きな変化等を踏まえ、12年ぶりに改訂されました。この研修会は、今の時代に必要な子ども

「不登校」等の課題について、個々の状態に応じ、どの「層」における、どのような対応が適切であるかを組織的に見取り判断しながら、より実効性のある支援を行っていくことが必要と認識しました。

さらに、「どうして学校に来ないのか」「どのような学校であれば来られるのか」への問いの転換、「直接体験を通じた

